

日本放送協会 理事会議事録

(平成29年 4月18日開催分)

平成29年 5月12日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成29年 4月18日(火) 午前9時00分～9時30分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、森永専務理事・技師長、
今井専務理事、坂本理事、安齋理事、根本理事、松原理事、
荒木理事、黄木理事、大橋理事

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1282回経営委員会付議事項について
- (2) 視聴者対応報告(平成29年1～3月)について
- (3) 個人情報保護法改正に伴う「NHK個人情報保護規程」の一部変更等について
- (4) 個人情報保護法改正に伴う「報道・著述・学術研究分野に係る個人情報保護規程」の一部変更について
- (5) 職務権限事項の改正について

2 報告事項

- (1) 放送技術審議会委員の委嘱について
- (2) 放送センター建替業務監査結果報告

議事経過

1 審議事項

- (1) 第1282回経営委員会付議事項について
(経営企画局)

4月25日に開催される第1282回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、報告事項として「平成28年度第4四半期業務報告」、「視聴者対応報告(平成29年1～3月)について」、「NHK情報公開・個人情報保護の実施状況(平成28年度)」、および「平成28年度契約・収納活動結果」です。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

- (2) 視聴者対応報告(平成29年1～3月)について
(広報局)

放送法第27条に定める視聴者対応の状況について、平成29年1～3月分を以下のとおり取りまとめました。については、放送法第39条第3項の規定に基づき、4月25日開催の第1282回経営委員会に報告したいと思います。

まず、この期間の視聴者の声(意見・要望、問い合わせ)の総数は、1月が32万5,248件、2月が32万3,921件、3月が36万4,723件でした。

次に、最近の報告から主な話題を紹介します。

学校法人「森友学園」をめぐる問題に関連するニュース・番組に対し、2月13日から3月末までに1万件を超える反響が寄せられました。男性からの声が58%と多く、特に60代以上からの厳しい声が目立ちました。3月13日放送の「クローズアップ現代+」において、認可や土

地取引をめぐる問題について関係者を追跡取材したところ、深い取材だったなどの好評意見が半数近くでした。また、3月23日に行われた籠池前理事長の証人喚問の数日前から意見が急増しましたが、これはインターネット上で「NHKが証人喚問の放送をしない」との誤った情報が流れたことで、放送要望が数多く寄せられたためです。

3月のNHKスペシャルは、東日本大震災関連番組を6本放送し、総反響数は485件でした。そのなかで、東京電力福島第一原子力発電所1号機で進行した危機の実態に迫った「メルトダウン File.6 原子炉冷却 12日間の深層」（3月12日放送）には、170件の反響がありました。6本全体を通して見ると、好評意見が12%、問い合わせが31%でした。男女別では、男性の反響が73%を占め、特に60代男性から多くの声が届きました。

放送が終了した連続テレビ小説「べっぴんさん」には、放送開始から最終回翌日までに7,813件の反響が寄せられました。内訳は、好評意見835件、厳しい意見2,342件、その他の意見716件、問い合わせが3,920件でした。問い合わせには、28年11月の津波警報や選抜高校野球による放送日や放送時間が変更になったことへの反響が含まれています。男女の年代別では、男性は20代以下・30代・40代で好評意見が厳しい意見を上回りましたが、それ以外の年代では厳しい意見が多くなりました。女性は20代以下で好評意見が厳しい意見を大幅に上回りましたが、それ以外の年代では厳しい意見の方が多くなりました。おおむね子育て世代からは好評の声が多かったものの、ドラマと同じ時代を生きてきた50代以上の世代からは、ストーリーや時代考証等について厳しい意見が寄せられる傾向が見られました。

そのほか、人形に変身したゲストから話を深く聞き出す、人形劇赤裸々トークショー「ねほりんぱほりん」（Eテレ 28年10月5日～3月22日放送）には、10月3日から3月26日までに360件の反響がありました。好評意見は幅広い層から届き、最も多かったのは20代以下の女性でした。人形で表現しているのがよい、司会の掛け合いがおもしろいなどの声が届く一方、Eテレにふさわしくないという声も寄せられました。

国際放送についてです。3月は国内外のニュースへの関心が高く、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」全体で784件の反響

が寄せられました。また、28年4月に始まった、“近いうちに日本に行く”人たちに人気の日本の観光ガイド番組「J-Trip Plan」には具体的な内容の問い合わせが目立ちました。「ラジオ日本」全体への反響は2,576件でした。

報告期間に寄せられた視聴者からの指摘や意見・要望への主な対応について紹介します。

聴覚障害者の方から、手話による放送サービスの充実を求める要望が多く寄せられますが、さまざまな課題から手話放送サービスが一部となっている実情を踏まえ、NHK放送技術研究所ではCGの手話通訳士が天気予報を手話で表現するシステムの開発をしています。手話通訳士の動作を研究し、手話文の意味の区切りでうなずく動作を加えたり、細かな手指の動きや表情をCGで再現する工夫をするなど、実用化に向けて研究を続け、現在は、NHK放送技術研究所のホームページ（<http://nhk.or.jp/str1/>）で、このシステムを使った関東1都6県の天気予報を一般公開して検証を実施しています。

誤記・誤読などに対する指摘は、1月が97件、2月と3月は72件ずつありました。指摘については、直接番組担当者に連絡し訂正するよう努めるとともに、再発防止のため、放送関係部局の連絡会で周知し、放送現場へ注意を喚起しました。

28年度は1年間で、国内外の視聴者から407万9,023件の意見・問い合わせがありました。前年度に比べて受信料関係が9万3,000件増え、放送関係が1万3,000件減りました。個別番組への反響は約118万件でした。

(会長) 「J-Trip Plan」へ寄せられる問い合わせには、どのように対応していますか。

(荒木理事) ホームページに番組の具体的な情報を掲載するなどの工夫をしています。

(広報局) メールでの問い合わせでNHKから返信できる方であれば、英語対応のメール担当者が番組担当者と連携をしてお答えするようにしています。

(根本理事) 個別に寄せられる英語でのメールについては、なるべく丁寧に答えるようにしています。

(会 長) わかりました。それでは原案どおり決定し、次回の経営委員会に報告してください。

(3) 個人情報保護法改正に伴う「NHK個人情報保護規程」の一部変更等について

(情報公開センター)

個人情報保護法の改正に伴い、「NHK個人情報保護方針」、「NHK個人情報保護規程」の一部変更、および「第三者提供等に係る記録の作成等に関する規程」、「匿名加工情報取扱規程」の新設について、審議をお願いします。

変更点は、次のとおりです。

第1点は、「NHK個人情報保護方針」と「NHK個人情報保護規程」を一部変更します。主な内容は、要配慮個人情報の取得、外国にある第三者への提供の制限、不要になった個人データの消去の努力義務について記載すること、また、視聴履歴の取り扱いについて整理することなどです。

第2点は、「第三者提供等に係る記録の作成等に関する規程」と「匿名加工情報取扱規程」を新設します。

第3点は、「本編」、「NHKオンデマンドサービス編」、「NHKインターネットサービス編」に分かれていた規程の統合を行います。

なお、今回の改正法のガイドラインにおいて、「個人情報保護管理者」が「必要な権限を有する役員などの組織横断的に監督することのできる者」とされました。NHKは従来から副会長、放送総局長を「個人情報保護統括責任者」、部局長を「個人情報保護管理者」と定めていましたが、新たな概念との混同を避けるため、今後は名称を変更し、副会長、放送総局長を「個人情報保護管理者」、部局長を「個人情報保護責任者」とします。

本件が決定されれば、平成29年5月30日付で実施します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(4) 個人情報保護法改正に伴う「報道・著述・学術研究分野に係る個人情報保護規程」の一部変更について

(情報公開センター)

個人情報保護法の改正に伴い、「報道・著述・学術研究分野に係る個人情報保護規程」について一部変更したいので、審議をお願いします。

変更点は、次のとおりです。

第1点は、安全管理措置に関する記述を具体化し、「NHK個人情報保護規程」と平仄を揃えます。

第2点は、「NHK個人情報保護規程」、「匿名加工情報取扱規程」(新設)、および「第三者提供等に係る記録の作成等に関する規程」(新設)の位置づけと合わせ、本規程を「放送総局長指示」から「会長指示」へ変更します。

本件が決定されれば、平成29年5月30日付で実施します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(5) 職務権限事項の改正について

(経営企画局)

職務権限事項の改正について、審議をお願いします。

部局長補佐として部局長権限を行使する職位を追加します。

本件が決定されれば、平成29年4月25日付で実施します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 放送技術審議会委員の委嘱について

(森永技師長)

放送技術審議会委員の委嘱について、報告します。

村岡裕明氏(東北大学電気通信研究所教授)に、平成29年5月1日付で再委嘱します。

(2) 放送センター建替業務監査結果報告

(内部監査室)

放送センター建替業務の監査結果について、報告します。

平成27年4月17日～29年2月3日に行われた放送センター建替

本部の業務について、監査方針に基づき、29年1月30日～2月3日に監査を実施しました。主な監査項目は、基本計画、募集要綱の検討プロセス、関連工事・課題等への対応・検討状況、部局管理業務、適正経理です。監査対象の放送センター建替本部に加え、総務局、経理局、技術局にも事前ヒアリングを行っています。

その結果、いずれの項目においても、放送センター建替本部が中心となって業務を推進しており、管理レベルは「適正」であることを確認しました。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成29年 5月 9日

会 長 上 田 良 一